

## 避難区域の拡大等を求める3月28日「要望書」への賛同署名

3月28日厚労省との交渉参加者一同から提出された、  
下記8項目の要望書に賛同し、その各項目について  
政府が速やかに対策をとることを求めます。

3月28日厚生労働省との交渉を踏まえた要望書

内閣総理大臣 菅 直人 様／厚生労働大臣 細川律夫 様

3月28日の質疑の総括として、次の事項を要望します。

1. 20～30km範囲の「積極的自主避難」は無責任。直ちに避難指示を出すこと。  
線量に応じて避難範囲を拡大すること。
2. 今回の事故によって住民に晩発的に現れる生命・健康への影響を明らかにするため、外部被ばく、大気中のヨウ素などの吸入による内部被ばく及び食品・飲料水からの被ばくの全体について、集団被ばく線量を随時計算して公表すること。
3. 放射線作業員への基準値引き上げ(250mSv)を撤回すること。
4. モニタリング調査を拡大し公表すること。特に、
  - ・各地の土壌汚染について、1平方メートル当たり何ベクレルかを測定し公表すること。
  - ・甲状腺の内部被ばく線量を測定し公表すること。測定条件を明らかにすること。
5. 直ちに住民の被ばく・健康調査を実施し、長期にわたって健康管理を行うこと。
6. 食品の暫定規制値を緩和しないこと。現行の暫定規制値でも住民に大量の被ばくを強要するものだ。
7. 農業・酪農従事者への被害補償、移転補償を行うこと。
8. 全体的に、公衆の線量限度である年1ミリシーベルトを厳守し、それを満たすような措置をとること。

お名前あるいは団体名	都道府県名	(肩書きがある場合はどうぞ)

★最終集約 2011年4月15日 (第一次集約 2011年4月10日)

集約先: 美浜・大阪・高浜原発に反対する大阪の会 (美浜の会)

大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL 06-6367-6580 FAX 06-6367-6581

(同様の署名が海外でも取り組まれています グリーン・アクションのホームページから)

コピー、印刷して広めてください。ネットでの賛同署名は美浜の会のHPからできます

署名取扱い団体、個人

[賛同署名の呼びかけ文]

## 3月28日厚労省交渉での要望書に賛同署名を！

「要望書」は避難区域の拡大等を求めています

### 賛同署名を政府に提出します

3月28日に行われた厚生労働省との交渉を踏まえて、交渉参加者一同から総理と厚生労働大臣に要望書が提出されました。要望書では避難区域の拡大等、8項目を求めています。

各要望事項が一刻も早く実現するよう、要望書への賛同署名を広く呼びかけます。

- ★団体でも個人でも署名できます。
- ★公開質問書の共同提出団体になった168団体にも改めて賛同署名をお願いします。
- ★署名項目 お名前あるいは団体名／都道府県名／（肩書きがある場合はどうぞ）
- ★最終集約 4月15日（第一次集約 4月10日）
- ★賛同署名の集約先 美浜の会

#### ◎賛同署名の呼びかけ団体は下記7団体です

グリーン・アクション／玄海原発プルサーマル裁判の会／原子力資料情報室／日本キリスト教協議会／ふえみん婦人民主クラブ／福島老朽原発を考える会／美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）

賛同署名集約：美浜の会 <http://www.jca.apc.org/mihama/>

大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL 06-6367-6580 FAX 06-6367-6581

同様の署名は海外でも取り組まれています

国際署名の連絡先 グリーン・アクション <http://fukushima.greenaction-japan.org/>

#### ◎賛同署名の呼びかけにいたる経過

1. 3月24日に菅直人首相宛に168団体が公開質問書を提出しました。  
福島第一原発事故以来、政府が繰り返す「ただちに人体に影響がでるレベル」とは、どのようなレベルで、その人体影響とはなにかを具体的に説明するように公開質問書を提出  
公開質問書と168団体 [http://www.jca.apc.org/mihama/fukushima/gov\\_q110324.pdf](http://www.jca.apc.org/mihama/fukushima/gov_q110324.pdf)
2. 3月28日に約60名の市民が参加して厚生労働省との交渉が行われました。  
「ただちに影響がでるレベル」がどういうレベルは、「厚労省としてははっきりしていない」等の無責任な回答でした。  
3月28日厚労省交渉報告 [http://www.jca.apc.org/mihama/fukushima/mhlw\\_kosho110328.htm](http://www.jca.apc.org/mihama/fukushima/mhlw_kosho110328.htm)
3. 同日、交渉参加者一同の名前で「要望書」が内閣総理大臣と厚生労働大臣宛に提出されました。  
交渉参加者一同名の要望書 [http://www.jca.apc.org/mihama/fukushima/gov\\_req110328.htm](http://www.jca.apc.org/mihama/fukushima/gov_req110328.htm)
4. 各要望事項が一刻も早く実現するよう、7団体の呼びかけで、賛同署名を呼びかける。